

1.2.Windows 7以降のOSにおける印刷設定起動時の注意点.....2 1.13.4.ダウンロードフォント・ロゴフォント情報......43 2. インストーラ/アンインストーラ起動手順...... 51 3.1. プリンタドライバ インストール画面...... 56 3.3.2.SATO COMポート選択画面......60 3.3.5.SATO LANポート登録画面......64

 4.2.アンインストール プリンタ選択画面
 68

 4.3.アンインストール 終了画面
 69

Ħ

次

5. USB標準印刷サポートのインストール方法	70
5.1.USB標準印刷サポートのインストール手順	70
5.1.1.Windows 7以降のOSでのインストール手順手順	70
5.1.2.Windows Vista/Server2008でのインストール手順手順	74
5.1.3.Windows XP/Server2003でのインストール手順手順	78
6. 注意事項	82
6.1.インストール起動時のエラーメッセージ	82
6.2.アンインストール時のポート共有メッセージ	83
6.3.Plug & Play回避方法	84

はじめに

SCANTRONICS シリーズ	SG400R-ex シリーズ	SG408R-ex / SG412R-ex / SG424R-ex
	-	SG112T/R
	SG600R シリーズ	SG608R / SG612R
	SG400R シリーズ	SG408R / SG412R / SG424R
	BF400R シリーズ	BF408R / BF412R
	HA200R シリーズ	HA212R / HA224R
	-	GN412T
SATOC シリーズ	ST300R シリーズ	ST308R / ST312R
BARTRONICS シリーズ	-	RT308R

本書では以下に示す機種のプリンタドライバに関して説明しております。

プリンタドライバには、x86版(32ビット 0S用)とx64版(64ビット 0S用)の2種類があります。 動作対象 0Sは以下となります。

32 ビット OS :	Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10
	Windows Server 2003 / 2008
64 ビット 0S :	Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 / 11
	Windows Server 2008 / 2008 R2 / 2012 / 2012 R2 / 2016 / 2019 / 2022

※ ARM 版 Windows は動作対象外となります。

本書では主に Windows 8 上における SG408R-ex 用プリンタドライバの画面を使用しています。そのため、実際にお使いになる OS、機種によっては、画面構成が異なる場合がありますのでご了承ください。

1. プリンタドライバ

1.1. プリンタドライバについて

SG408R-exのプリンタドライバは、「印刷設定(G)」として、独自に「バージョン情報」、「用紙」、「動作モード」、「拡張処理設定」、「クリエイトフォント」、「ユーティリティ」、「TrueType フォント」の7個のタブを所有しており、各タブにおいて様々な設定が可能です。

1.2.Windows 7 以降の 0S における印刷設定起動時の注意点

Windows 7 以降の 0S で「印刷設定(G)」を設定するためには、管理者権限にておこなう必要があり ます。管理者権限以外で設定値の変更、またはプリンタポートの追加などの処理をおこなっても、 エラー画面が表示され、反映されません。指定の方法は、「プリンタ」フォルダの中にある、SATO SG408R-ex プリンタを選択し、「プリンタのプロパティ(P)」⇒「共有」⇒「共有オプションの変更 (0)」と選択します。



図 1.2.2 共有オプション設定画面

※「共有オプションの変更(0)」が表示されていない場合

Windows の設定を変更して「共有オプションの変更(0)」ボタンを表示させる必要があります。下記の手順は一例であり、お使いの Windows の設定によってメニュー構成が異なる場合や設定変更ができない場合がある事をあらかじめご了承下さい。PC 操作に関するお問合せは PC メーカーまたはPC 管理者までお願いいたします。

【「共有オプションの変更(0)」ボタンの表示手順】

- (1) 「コントロールパネル」⇒「ホームグループと共有に関するオプションの選択」⇒「共有の詳細設定の変更」を開きます。
- (2) 「現在のプロファイル(ホームまたは社内/パブリック/ドメインのいずれか)」の「ファ イルとプリンターの共有」で「ファイルとプリンターの共有を無効にする」を選択して「変 更の保存」ボタンをクリックします。

1.3. Windows Vista/Server2008 での印刷設定起動時の注意点

Windows Vista/Server2008 で「印刷設定(G)」を設定するためには、<u>管理者権限</u>にておこなう必要 があります。管理者権限以外で設定値の変更、またはプリンタポートの追加などの処理を行っても エラー画面が表示され、反映されません。指定の方法は、「プリンタ」フォルダの中にある、SATO SG408R-ex プリンタを選択し、「管理者として実行(A)」の「プロパティ(R)」を選択します。

	コールパネル・ハ	\ードウェアとサウンド ▶	プリンタ		食索	Q
🎍 整理 👻 🔳 表示 👻	🍓 プリンタのイ	ンストール 😹 印刷ジョフ	「の表示 🝓 印刷設定の選択	マ 🏋 このプリンタの剤	l除 »	0
お気に入りリンク	名前	ドキュメント 状態	コメント 場所	モデル		
 ドキュメント ビクチャ ミュージック 最近の変更 			開<(0)			
22 検索	Fax	Document Writer	● 管理者として実行	;(A)	▶ 開<(0)	
10090 10090			白水明白文水白(日)		一時停止(G)	
			一時停止(G)		共有(I)	
			共有(I)		プリンタをオフラ	ラインで使用 <mark>する(</mark> U)
			プリンタをオフラ	インで使用する(U)	削除(D)	
			最新の情報に更新	í(H)	プロパティ <mark>(</mark> R)	
			ショートカットの 削除(D) 名前の変更(M)	ਮ"⊧成(S)		
			プロパティ(R)			

図 1.3.1 プリンタフォルダ画面

「バージョン情報」タブをクリックすることで、プリンタドライバのバージョンを表示します。 また、インストールされている言語モニタ、ポートモニタのバージョンも表示します。

	SATO SG40	8R-ex 印刷設	定 ×
拡張処理設定	-ב	ティリティ	TrueType7ォント
バージョン情報	用紙	動作モード	クリエイトフォント
SCANTRO SG400R-ey	DNICS x series		
Printer Driver Version Infr SCANTRONICS SG400R-e For Windows (x64)	ormation ex Printer Driver	Version 12.0.0.30	I
Copyright(C) SATO Corpo	ration All Rights	Reserved	SATO WEBSITE
-Module Version			
Language monitor : 12.0	.0.30	LPT Port monitor	: 10.0.2.30
User interface : 10.0 COM Port monitor : 10.0	1.3.30 1.2.30	LAN Port monito:	r: 10.0.3.30
		OK	キャン わり。 適田(A)

図 1.4.1. バージョン情報画面

注意)標準 USB でインストールを行った場合には、ポートモニタはインストールされないため空欄になります。

♦SATO WEBSITE

SATO ダウンロード・サイト (www.sato.co.jp/download/manual/) にアクセスします。当サイトか らプリンタドライバやマニュアルをダウンロードできます。

1.5. 用紙(RT308R)

※ST300R をご使用の場合も本項を参照してください。

説明には RT308R を使用しているため機種により設定項目、設定範囲が異なります。

🔿 SATO RT308R 印刷設:	έ ×
バージョン情報 用紙 動作モード 拡張処理設定 クリエイ	トフォント ユーティリティ
用紙名: タグJIS10号 P25xW32mm V 用紙は	最大 20 個登録できます。
印刷方向 設定 ● 縦 □ 180度回転 □ 積	
- 印字基点補正 縦基点 0 ◆ 横基点 0 ◆ ドット単位	123
xカニズム寸法補正: カッタオフセット 0 ↓ ハウリオフセット 0 ↓ ティアオフオフセット 0 ↓ 用紙と°ッチオフセット 0 ↓	₩ 123 方 向
基準位置指定 基準位置 0 テット単位	全体図表示
用紙登録 用紙編集 用紙削除	フリーサイス、編集
 □データ参照 ⑦用紙設定の互換 説明 登録されている用紙名を選択します。 	
ОК	キャンセル 適用(<u>A</u>)

<u>図 1.5.1 用紙画面</u>

◆用紙名

用紙サイズや用紙の種類として登録されている名前から、規定とする用紙サイズを選択します。

◆印刷方向

印刷の向きを選択します。縦・横と180度回転の組み合わせで回転角度を決めます。

回転方向は、反時計回りとなります。

※縦・横の設定は、アプリケーションの設定に従いますので、アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせ てご使用ください。

◆印字基点補正

印字位置を調整する場合に使用してください。 縦・横各々-400dot~400dotの範囲で調整可能です。

◆メカニズム寸法補正

カッタ、ハクリ、ティアオフ、用紙ピッチの停止位置を変更します。

◆基準位置

縦方向の印字基準位置を指定します。

-400dot~400dotの範囲で調整可能です。

用途として、センタホールの位置を基準とした印字基準位置を指定する目的で使用します。

- 詳細は、次頁の補足説明をご覧ください。
- ◆用紙登録、用紙編集、用紙削除、フリーサイズ編集

用紙サイズのメンテナンスを行います。用紙登録数は、最大 20 個となります。

◆用紙設定の互換

ON の場合: Ver9 までの用紙設定入力モードで、印字可能領域を任意に入力できます。 OFF の場合:用紙種のセンサ種別により、印字開始位置の補正を行います。補正するサイズは、ラベル間ギャップの サイズになります。補正を行うのは、アイマークセンサの場合とギャップセンサの場合になります。 [補足説明1] 基準位置の設定

「センタホールタグ」、「横ホールタグ」を使用した場合、下記のように基準位置を補正する必要があ ります。「デバイスの設定」画面の「情報を取得」にて情報を取得することで、プリンタにセットされ ている用紙情報をもとに初期値をセットします。初期値で基準位置が合わない場合は、値を変更して ください。



用紙登録	×
 用紙名: 用紙種: センタホールタグ ✓ ● 毎回カット 印字濃度指定 A ✓ 印字濃度レベル 濃度3 普通 ✓ 	OK キャンセル
単位 ● mm ● inch 各種サイズ設定 用紙サイズ: 幅 80.0 全長さ 120.0 全 戸字可能領域 用紙上端: 0.0 全 用紙福: 80.0 全 用紙高さ: 120.0 全	
説明 用紙幅サイスを設定します。(指定範囲32.0mmから80.0mmです。)	

図 1.5.2 用紙登録画面(用紙設定の互換 ON 時)

◆用紙名

登録する用紙の名称を入力します。

◆用紙種

使用する用紙の種類を選択します。

用紙の種類については、次頁の補足説明2をご覧ください。

◆毎回カット

拡張処理設定の内容に関係なく、毎回カットを行う設定になります。

◆印字濃度指定

印字濃度コマンドを送信する場合には「A」、送信しない場合には「プリンタ設定に従う」を選択してください。

◆印字濃度レベル

1~5 段階の印字濃度レベルが指定できます。 印字濃度指定が「プリンタ設定に従う」の場合には、本指定はマスクされます。

◆単位

mm か inch が指定できます。

◆用紙サイズ

幅:台紙を含む用紙幅になります。 長さ:台紙を含む用紙長さとなります。 ラベル間ギャップ:未使用になります。

◆印字可能領域

ラベル左端: ラベルの左余白になります。 ラベル上端: ラベルの上余白になります。 ラベル幅: 実際の印字可能領域幅となります。 ラベル高さ: 実際の印字可能領域の高さとなります。 [補足説明2] RT308R 用紙種の種類

RT308Rの用紙種で選択できる用紙の種類は、「センタホールタグ」、「横ホールタグ」、「アイマークタ グ」、「アイマークラベル」、「ギャップラベル」の5種類になります。 ご使用になる用紙の種類を確認して、設定を行ってください。

センタホールタグ 横ホールタグ



アイマークタグ











用紙登録	×
 用紙名: 用紙種: センタホールタグ ✓ ●毎回カット 印字濃度指定 A ✓ 印字濃度レベル 濃度3 普通 ✓ 	OK \$ \$`\th
単位 ● mm ○ inch 各種サイズ設定 用紙サイズ: 幅 80.01 ◆ 長さ 120.0 ◆ う^\ル間キシャッフ? 0.0 ◆ 印字可能領域 用紙左端: 0.0 ◆ 用紙指: 80.0 ◆ 用紙高さ: 120.0 ◆	
説明 用紙幅サイスを設定します。(指定範囲32.0mmから80.0mmです。)	

図 1.5.3 用紙登録画面(用紙設定の互換 OFF 時)

◆用紙名

登録する用紙の名称を入力します。

◆用紙種

使用する用紙の種類を選択します。

用紙の種類については、前頁の補足説明2をご覧ください。

◆毎回カット

拡張処理設定の内容に関係なく、毎回カットを行う設定になります。

◆印字濃度指定

印字濃度コマンドを送信する場合には「A」、送信しない場合には「プリンタ設定に従う」を選択してください。

◆印字濃度レベル

1~5段階の印字濃度レベルが指定できます。 印字濃度指定が「プリンタ設定に従う」の場合には、本指定はマスクされます。 ◆単位

mm か inch が指定できます。

◆用紙サイズ

幅:台紙を含む用紙幅になります。 長さ:台紙を含む用紙長さとなります。 ラベル間ギャップ:ラベルとラベルのギャップサイズになります。

◆印字可能領域

ラベル左端:ラベルの左余白になります。

ラベル上端:0 固定となります。

用紙設定の互換 OFF 時は、ラベル間ギャップの値を印字開始位置で使用します。

ラベル幅:実際の印字可能領域幅となります。

ラベル高さ:(用紙長さ-ラベル間ギャップ)を用紙登録時に設定します。

フリーサイズ用	紙編集	×
 紙名: フリーサイズ 紙種: センタホールタグ P字濃度指定 A P字濃度レベル 濃度3 普通 	✔ 毎回力ット	OK キャンセル データ参照 ◀
単位 ● mm ○ inch 各種サイズ設定 周紙サイズ: 幅 32.0 全 長さ 25.0 全 小小間キャップ: 0.0 全 中子可能領域 用紙左端: 0.0 全 用紙上端: 0.0 全 用紙幅: 32.0 全 用紙高さ: 25.0 全	設定個所 123 123 133 133 135 123 135 123 135 123 135 135 135 135 135 135 135 13	

図 1.5.4 フリーサイズ用紙編集画面

設定内容は、図 1.5.2 と同じになります。 ①各設定値を登録済みの用紙から参照します。クリックすることにより、図 1.5.5 に示す画 面が表示されます。



図 1.5.5 参照用紙選択画面

①設定値を参照する用紙を選択します。

1.6. 用紙(SG400R-ex)

※BF400R、SG400R、SG600R、HA200R をご使用の場合も本項を参照してください。 説明には SG400R-ex を使用しているため機種により設定項目、設定範囲が異なります。

	SATO	SG408R-ex	(印刷設定		×
拡張処理設? バージョン情報	ま 月紙	ユーティリティ	助作モード	TrueTypeフォント クリエイトフォント	
用紙名: Stand 印刷方向 ●縦 ○横 印字基点補正	lard Label1 P178	× W128 mr ♥	用紙は最大	20 個登録できます。	
祉益点 横基点 カンス・ム寸法補正 カッタオフセット パワオフセット ディアオフオフセット 田紙ド・ッチオフセット		ドット単位	ļ	1°	
用紙登録 □ テ~タ参照 説明 登録されている用	用紙編集 ▼用紙設定の 紙名を選択しま	ドット単位 用紙 D互換 す。	全体 削除 Free Size用紙	▶図表示 フリーサイス 編集 ☆ID=257とする	
		ОК	+	ヤンセル 適用(A	<u>\</u>)

<u>図 1.6.1 用紙画面</u>

◆用紙名

用紙サイズや用紙の種類として登録されている名前から、規定とする用紙サイズを選択します。

◆印刷方向

印刷の向きを選択します。縦・横と180度回転の組み合わせで回転角度を決めます。

回転方向は、反時計回りとなります。

※縦・横の設定は、アプリケーションの設定に従いますので、アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせ てご使用ください。

◆印字基点補正

印字位置を調整する場合に使用してください。 縦・横各々-792dot~792dotの範囲で調整可能です。

◆メカニズム寸法補正

カッタ、ティアオフ、用紙ピッチの停止位置を変更します。

◆用紙登録、用紙編集、用紙削除、フリーサイズ編集

用紙サイズのメンテナンスを行います。用紙登録数は、最大 20 個となります。

◆用紙設定の互換

ON の場合: Ver9 までの用紙設定入力モードで、印字可能領域を任意に入力できます。

OFF の場合:センサ種により、印字開始位置をラベル間ギャップサイズ分補正して、調整する入力モードになります。 また、印字不可領域分右に印字位置を補正します。

◆Free Size 用紙を ID=257 とする

ご使用になるアプリケーションで、用紙 ID を MR400e シリーズと合わせる場合に有効にしてください。 ON で用紙 ID: 257、0FF で ID: 256 になります。

	用紙登録	×
用紙名: 印字濃度指定 A 印字濃度レベル 濃度5 各種サイズ設定 用紙サイズ [*] 幅 131.01 全 長さ 181.0 全	設定個所 123 mm mm 123 123 123 123 123 123 123 123	ОК ++)tl
印字可能領域 うべル左端 24.0 ◆ うベル上端 0.0 ◆ うベル幅 104.0 ◆ うベル高さ 178.0 ◆ センサ無視モード □ ラベル停止位置を縦ラベルサイズで指定	mm mm mm mm 全体図表示 する	
開紙幅サイスを設定します。(指定範囲25.0mmた)vら131.0mmです。) 	

<u>図 1.6.2 用紙登録画面(用紙設定の互換 ON 時)</u>

◆用紙名

登録する用紙の名称を入力します。

◆印字濃度指定

印字濃度コマンドを送信する場合には「A」、送信しない場合には「プリンタ設定に従う」を選択してください。

◆印字濃度レベル

1~10 段階の印字濃度レベルが指定できます。

印字濃度指定が「プリンタ設定に従う」の場合には、本指定はマスクされます。

◆用紙サイズ

幅:台紙を含む用紙幅になります。 長さ:台紙を含む用紙長さとなります。

◆印字可能領域

ラベル左端:ラベルの左余白になります。 ラベル上端:ラベルの上余白になります。 ラベル幅:実際の印字可能領域幅となります。 ラベル高さ:実際の印字可能領域の高さとなります。

◆センサ無視モード

センサ無視の設定で、用紙位置で停止を行う場合に有効にします。

	用紙	登録	×
用紙名: 印字濃度指定 印字濃度レベル 濃度5	~	設定個所	ОК ++)セル
各種サイズ設定 用紙サイズ [*] 幅 131.0 長さ 181.0 ラハル間キャッフ [*] 3.0 印字可能領域 ラハル左端 24.0 ラハル上端 0.0 ラハルー上端 104.0 ラハル高さ 178.0	mm mm mm mm mm mm mm		
センサ無視モード □ ラベル停止位置を縦ラベルサイズで推 説明 用紙幅サイスを設定します。(指定範囲25.0m	定する imから131.0	mmです。)	

図 1.6.3 用紙登録画面(用紙設定の互換 OFF 時)

◆用紙名

登録する用紙の名称を入力します。

◆印字濃度指定

印字濃度コマンドを送信する場合には「A」、送信しない場合には「プリンタ設定に従う」を選択してください。

◆印字濃度レベル

1~10 段階の印字濃度レベルが指定できます。

印字濃度指定が「プリンタ設定に従う」の場合には、本指定はマスクされます。

◆用紙サイズ

幅:台紙を含む用紙幅になります。

長さ:台紙を含む用紙長さとなります。

ラベル間ギャップ:ラベルとラベルのギャップサイズになります。

◆印字可能領域

ラベル左端;ラベルの左余白になります。

ラベル上端:0固定となります。

用紙設定の互換 OFF 時は、ラベル間ギャップの値を印字開始位置で使用します。

- ラベル幅: 実際の印字可能領域幅となります。
- ラベル高さ: (用紙長さ-ラベル間ギャップ)を用紙登録時に設定します。

◆センサ無視モード

センサ無視の設定で、用紙位置で停止を行う場合に有効にします。

	ר	リーサイス	《用紙編集	×	
用紙名 : Free S	ize			ОК	
印字濃度指定	A	~	設定個所	キャンセル	
印字濃度レベル	濃度5	~	↑		
- 各種サイズ設定 用紙サイス [×]	幅 131.0 🔶 長さ 181.0 🚖	mm mm		データ参照 ◀	(
印字可能領域 ラ ラ 	 ヘル左端 24.01 ペル上端 0.0 ラへル幅 104.0 ラへル高さ 178.0 	mm mm mm	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		
ーセンサ無視モード □ラベル停止位	。 置を縦ラベルサイズで指定	言する			
説明 ラヘル左端からのEP	字禁止領域を設定します。	(通常は	24.0mm です。) 		

図 1.6.4 フリーサイズ用紙編集画面

設定内容は、図1.6.2と同じになります。

①各設定値を登録済みの用紙から参照します。クリックすることにより、図 1.6.5 に示す画 面が表示されます。



図 1.6.5 参照用紙選択画面

①設定値を参照する用紙を選択します。

1.7. 用紙(SG112T/R)

.	SATO SG112 印刷設定	×				
クリエイトフォン バージョン情報	ユーティリティ TrueTypeフォント 用紙 動作モード 拡張処理設定					
用紙名: 標準ラ ●印刷方向 ●縦 ○横 □ 180度回転 ●印字基点補正(ドッ 縦基点 0 - 幼ニス、ム寸法補正 カッタオフセット ハウリオフセット ラィアオフオフセット	ペル1 266 × 300 mm 用紙は最大 20 個登録できます。 印刷順序 ① 微微 ○ 微 ○ 微 ○ 微 ○ 微 ○ 微 ○ 微 ○ 微 </td <td></td>					
747474720年 0 ● 全体図表示 用紙と*ッチオフセット 0 ・ドット単位 全体図表示 用紙登録 用紙編集 用紙削除 フリーサイス 編集 デーク参照 ● 用紙設定の互換 説明 登録されている用紙名を選択します。 OK キャンセル 適用(A)						

<u>図 1.7.1 用紙画面</u>

◆用紙名

用紙サイズや用紙の種類として登録されている名前から、規定とする用紙サイズを選択します。

◆印刷方向

印刷の向きを選択します。縦・横と180度回転の組み合わせで回転角度を決めます。

回転方向は、反時計回りとなります。

※縦・横の設定は、アプリケーションの設定に従いますので、アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせ てご使用ください。

◆印刷順序

小ラベルモードの場合に印刷順序を設定します。(次頁の補足説明3参照)

◆台紙コピー数

小ラベルモードの場合に、台紙単位のコピー部数を設定します。(次頁の補足説明4参照)

◆印字基点補正

印字位置を調整する場合に使用してください。

縦・横各々-792dot~792dotの範囲で調整可能です。

◆メカニズム寸法補正

カッタ、ティアオフ、用紙ピッチの停止位置を変更します。

※ハクリオフセットは未使用になります。 ▲田知路得 田知短告 田知制隆 フリ エノー

◆用紙登録、用紙編集、用紙削除、フリーサイズ編集

用紙サイズのメンテナンスを行います。用紙登録数は、最大 20 個となります。

◆用紙設定の互換

ONの場合: Ver9 までの用紙設定入力モードで、印字可能領域を任意に入力できます。 OFF の場合: センサ種別により、印字開始位置をラベル間ギャップサイズ分補正して、調整する入力モードになりま

す。

[補足説明3] 印刷順序

多面取りラベルを使用する際の印刷順序を指定します。初期値は「横」です。 図 1.7.2 に「印刷順序」の「横」、「縦」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。



図 1.7.2(a) 印刷順序 横



図 1.7.2(b) 印刷順序 縦

[補足説明4]台紙コピー数

多面取りラベルを使用する際の、台紙単位でのコピー部数を指定します。初期値は「1」です。 図 1.7.3 に「台紙コピー数」に「2」を指定した際の動作概要を示します。



図 1.7.3. 台紙コピーの動作概要



図 1.7.4 用紙登録画面(用紙設定の互換 ON)

◆用紙名

登録する用紙の名称を入力します。 ◆印字濃度コマンドを送信する場合には「A」、送信しない場合には「プリンタ設定に従う」を選択し てください。 ◆印字濃度レベル 1~10 段階の印字濃度レベルが指定できます。 印字濃度指定が「プリンタ設定に従う」の場合には、本指定はマスクされます。 ◆単位 mm か inch が指定できます。 ◆ラベル配置指定 横枚数:横方向のラベル枚数を指定します。

縦枚数:縦方向のラベル枚数を指定します。 ※横枚数、縦枚数のいずれかが2以上の場合に小ラベルモードになります。 台紙幅:台紙を含む用紙幅になります。

台紙長:台紙を含む用紙長さとなります。

◆用紙領域

左端:台紙左端から最左端ラベルまでの左余白になります。 上端:台紙上端から最上端ラベルまでの上余白になります。 幅:最左端ラベルの左余白から、最右端ラベルの右余白までの長さになります。 高さ:最上端ラベルの上余白から、最下端ラベルの下余白までの長さになります。 ◆**用紙サイズ設定** 幅:用紙1枚分の幅になります。 高さ;用紙1枚分の高さになります。 ◆**印字可能領域** ラベル左端;用紙1枚分のラベルの左余白になります。

ラベル上端:用紙1枚分のラベルの上余白になります。 ラベル幅:用紙1枚分の印字可能領域幅となります。 ラベル高さ:用紙1枚分の印字可能領域の高さとなります。

センサ無視の設定で、用紙位置で停止を行う場合に有効にします。

[補足説明5] ラベル配置設定

ここでは使用する用紙の1シート内におけるラベル配置に関する設定を行います。

①横枚数:1シート内におけるラベルの横方向配置枚数を指定します。 図1.7.5.1に「横枚数」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。



図 1.7.5.1. 「横枚数」設定個所表示

②縦枚数:1シート内におけるラベルの縦方向配置枚数を指定します。 図1.7.5.2に「縦枚数」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。



図 1.7.5.2. 「縱枚数」設定個所表示

③台紙幅:台紙幅を指定します。

図1.7.5.3に「台紙幅」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。

个	11121	11121
		112
+1121		112
版 送 方 句		112
101		

図 1.7.5.3.「台紙幅」設定個所表示

④台紙長:台紙の長さを指定します。

図1.7.5.4に「台紙長」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。



図 1.7.5.4. 「台紙長」設定個所表示

⑤用紙領域

左端:台紙左端から一番左に配置されているラベルの左端までの長さを指定します。 図 1.7.5.5 に「左端」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。

个	11121	11121
		112
+1721		
版 送 方白		
10]	€	

図 1.7.5.5.「左端」設定個所表示

⑥用紙領域

上端:台紙上端から一番上に配置されているラベルの上端までの長さを指定します。 図 1.7.5.6 に「上端」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。

个	11121	11121	
1724			
101			

図 1.7.5.6. 「上端」設定個所表示

⑦用紙領域

幅: 台紙内の一番左に配置されているラベルの左端から一番右に配置されているラベルの右端 までの長さを指定します。

図1.7.5.7に「幅」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。



図 1.7.5.7.「幅」設定個所表示

⑧用紙領域

高さ:台紙内の一番上に配置されているラベルの上端から一番下に配置されているラベルの下 端までの長さを指定します。

図1.7.5.8に「高さ」が選択されているときの「設定個所」表示を示します。



図 1.7.5.8.「高さ」設定個所表示

					用紙	登録			×
用紙名:						34774		ОК	
印字濃度	指定	A			¥	里位 ③ mm	n Oinch	キャンセル	
印字濃度	レベル(濃度5			¥	設定個別	所 図表示		
ーラベル配合 横枚数	重設定 1	÷	縦枚数	1		个	11121	11121	
台紙幅 - 用紙領封	266.0	÷	台紙長	300.0	÷				
左端	3.0	÷.	上端	3.0			112	112	
幅	263.0	÷	高さ 	297.0	+		4		
	7	小儿間书	`try7`	3.0	÷	搬送	HIZI	112	
- 用紙サイン 幅	ス設定 263.0	-	長さ	297.0		向			
印字可能	能領域		12/224				NISI	NIZI	
左端	0.0	÷	上端 高さ	0.0	+	-			
							N2	NU	
 センサ無約 □ ラベル4 	見モード 停止位置	を縦ラベ	いしせイ:	ズで指定	する				
1988	2XAR								
台紙の高さる	き指定しま	す。							

図 1.7.6 用紙登録画面(用紙設定の互換 OFF)

◆用紙名

登録する用紙の名称を入力します。

◆印字濃度指定

印字濃度コマンドを送信する場合には「A」、送信しない場合には「プリンタ設定に従う」を選択し てください。 ◆印字濃度レベル

1~10段階の印字濃度レベルが指定できます。

印字濃度指定が「プリンタ設定に従う」の場合には、本指定はマスクされます。

◆単位

mm か inch が指定できます。

◆ラベル配置指定

横枚数:横方向のラベル枚数を指定します。 縦枚数:縦方向のラベル枚数を指定します。 ※横枚数、縦枚数のいずれかが2以上の場合に小ラベルモードになります。 台紙幅:台紙を含む用紙幅になります。 台紙長:台紙を含む用紙長さとなります。

ラベル間ギャップ:センサ種別により、印字開始位置を補正するサイズになります。

◆用紙領域

左端:台紙左端から最左端ラベルまでの左余白になります。 上端:台紙上端から最上端ラベルまでの上余白になります。 幅:最左端ラベルの左余白から、最右端ラベルの右余白までの長さになります。 高さ:最上端ラベルの上余白から、最下端ラベルの下余白までの長さになります。 ◆用紙サイズ設定

幅:用紙1枚分の幅になります。

高さ;用紙1枚分の高さになります。

◆印字可能領域

ラベル左端:用紙1枚分のラベルの左余白になります。 ラベル上端:用紙1枚分のラベルの上余白になります。 ラベル幅:用紙1枚分の印字可能領域幅となります。 ラベル高さ:用紙1枚分の印字可能領域の高さとなります。

◆センサ無視モード

センサ無視の設定で、用紙位置で停止を行う場合に有効にします。



<u>図 1.7.7 フリーサイズ用紙編集画面</u>

設定内容は、図1.7.4と同じになります。

①各設定値を登録済みの用紙から参照します。クリックすることにより、図1.7.8に示す画面が表示されます。



図 1.7.8 参照用紙選択画面

①設定値を参照する用紙を選択します。

1.8. 用紙(GN412T)

.	SATO	GN412T 🗄	印刷設定	
クリエイトフォン バージョン情報	トーーの用紙	ユーティリティ	か作モード	TrueTypeフォント 拡張処理設定
用紙名: 標準= 印刷方向 ●縦 一間刷動作 両面印字(3) 印字基点補正:表 縦基点 世字基点補正:表 縦基点 世字基点補正:表 縦基点 世字支点補正:表 縦基点 横基点 日字ないす法補正 カッタオフセット う(アオフオフセット 用紙と"ッチオフセット	、 、 、 し 180度回転 、 、 、 、 、 、 、 、	m く ドット単位 ドット単位	用紙 は最大 20) 個登録できます。
用紙登録 用紙登録 □ テ~9参照 説明 登録されている用	 □ □ 用紙編集 ☑ □ □<	ドット単位 用紙 互換 。	削除 7	リーサイス`編集
		OK	+ †)	ンセル 適用(<u>A</u>)

図 1.8.1 用紙画面

◆用紙名

用紙サイズや用紙の種類として登録されている名前から、規定とする用紙サイズを選択します。

◆印刷方向

印刷の向きを選択します。縦・横と180度回転の組み合わせで回転角度を決めます。

回転方向は、反時計回りとなります。

※縦・横の設定は、アプリケーションの設定に従いますので、アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせ てご使用ください。

◆印字動作

両面印字を行うか通常印字(表面のみ印字)を行うかの選択をします。

◆印字基点補正(表面・裏面)

印字位置を調整する場合に使用してください。

縦・横各々-1200dot~1200dotの範囲で調整可能です。

◆メカニズム寸法補正

カッタ、ティアオフ、用紙ピッチの停止位置を変更します。

◆用紙登録、用紙編集、用紙削除、フリーサイズ編集

用紙サイズのメンテナンスを行います。用紙登録数は、最大 20 個となります。

◆用紙設定の互換

ON の場合: Ver9 までの用紙設定入力モードで、印字可能領域を任意に入力できます。

OFF の場合:印字開始位置の補正を行います。補正するサイズは、ラベル間ギャップのサイズになります。 印字可能領域の幅の設定が出来るようになります。

			キャンセル
衣囲の設定 印字)))) 印字)))))))))	D	甲1辺 ● mm ○ inch	
印字濃度レベル	濃度4 やや濃い	v	
裏面の設定		設定個所	
印字濃度指定	В	✓ 123 ↑	
印字濃度レベル	濃度4 やや濃い	✓	
各種サイズ設定			
用紙サイスミニ幅:	115.0		
長さ:	303.0 🚖		
ラベル間ギャップ:	3.0	·····································	
ラベル左端:	0.0	┃	
ラベル上端:	0.0	全体図表示	
ラベル幅:	104.0 🜲		
ラヘル高さ:	300.0 🜩		
88			

図 1.8.2 用紙登録画面(用紙設定の互換 ON 時)

◆用紙名

登録する用紙の名称を入力します。 ◆印字濃度指定 印字濃度コマンドを送信する場合には「A~F」送信しない場合には「プリンタ設定に従う」を 選択してください。 ◆印字濃度レベル 1~5段階の印字濃度レベルが指定できます。 印字濃度指定が「プリンタ設定に従う」の場合には、本指定はマスクされます。 ※設定は表面、裏面各々で出来ますが、「プリンタ設定に従う」を表面、裏面のいずれか、もしく は両方選択した場合には、印字濃度設定のコマンド出力を行いません。 ◆単位 mm か inch が指定できます。 ◆用紙サイズ 幅:台紙を含む用紙幅になります。 ※用紙幅が最大印字可能領域幅を越えた場合には、未使用の印字可能領域に以下の値が自動で設定、 されます。 ラベル左端:(用紙幅-最大印字可能領域幅)/2 ラベル幅:最大印字可能領域幅 長さ:台紙を含む用紙長さとなります。 ※用紙長が、最大印字可能領域高さを越えた場合には、未使用の印字可能領域に以下の値が自動で 設定されます。 ラベル高さ:最大印字可能領域高さ ラベル間ギャップ:未使用になります。 ◆印字可能領域 ラベル左端;未使用になります。 ラベル上端:未使用になります。 ラベル幅:未使用になります。 ラベル高さ:未使用になります。

用紙名:			ОК
表面の設定		単位	キャンセル
印字濃度指定	В	🖉 💿 mm 🔘 inch	
印字濃度レベル	濃度4 やや濃い	•	
裏面の設定		設定個所	
印字濃度指定	В		
印字濃度レベル	濃度4 やや濃い		
各種サイズ設定			
用紙サイス: 幅:	115.0 😫		
長さ:	303.0		
ラベル間ギャップ:	3.0	₩	
ラベル左端:	0.0	る	
ラベル上端:	0.0	全体図表示	
ラベル幅:	104.0 🚖		
ラベル高さ:	300.0		
188			
にの 際に印字する領域の	D幅を指定します。		

図 1.8.3 用紙登録画面(用紙設定の互換 OFF 時)

◆用紙名

- 登録する用紙の名称を入力します。
- ◆印字濃度指定

印字濃度コマンドを送信する場合には「A~F」送信しない場合には「プリンタ設定に従う」を 選択してください。

◆印字濃度レベル

1~5 段階の印字濃度レベルが指定できます。 印字濃度指定が「プリンタ設定に従う」の場合には、本指定はマスクされます。 ※設定は表面、裏面各々で出来ますが、「プリンタ設定に従う」を表面、裏面のいずれか、もしく は両方選択した場合には、印字濃度設定のコマンド出力を行いません。

◆単位

mm か inch が指定できます。

- ◆用紙サイズ
 - 幅:台紙を含む用紙幅になります。

長さ:台紙を含む用紙長さとなります。

ラベル間ギャップ:センサ種別により、印字開始位置を補正するサイズになります。

◆印字可能領域

ラベル左端;ラベルの左余白になります。

(用紙幅-ラベル幅)/2 を用紙登録時に設定します。

- ラベル上端:0固定になります。
- ラベル幅:実際の印字可能領域幅となります。
- ラベル高さ: (用紙長さ-ラベル間ギャップ)を用紙登録時に設定します。

ただし、印字可能領域最大高さを越える場合には、印字可能領域最大高さが設定され ます。

紙名:	-サイス		- OK
表面の設定 	D	単位 ● mm O inch	++/2/
印于减度指定			
	/me/.sc.4 1212/met/ 1	•	データ参照 🗲
裏面の設定		設定個所	T I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
印字濃度指定	В		
印字濃度レベル	濃度4 やや濃い	✓	
各種サイズ設定一			
用紙サイス: 幅:	111.0		
長さ:	181.0 🜩		
うへい問まないつ。	3.0	搬	
フハル左頭に	1.0		
フヘル上端:	0.0	全体図表示	
7ヘル唱:	104.0		
ラベル高さ:	178.0		

図 1.8.4 フリーサイズ用紙編集画面

設定内容は、図 1.8.2 と同じになります。

①各設定値を登録済みの用紙から参照します。クリックすることにより、図1.8.5 に示す画 面が表示されます。



図 1.8.5 参照用紙選択画面

①設定値を参照する用紙を選択します。

1.9. TrueType フォント

「TrueType フォント名」にはプリンタに内蔵している TrueType フォントが表示されます。

÷		SATO SG40)8R-ex 印刷設定				
	バージョン情報	用紙	動作モード	クリエイトフォント			
	拡張処理設定	-ב	- , 71),77	TrueType7 ₄ 21			
	TrueTypeフォント名						
TrueTypeフォント名 CG Times CG Triumvirate							
	説明 Truetypeフォントを一覧表テ	元します。	OK ‡	·ヤンセル 適用(A)			

<u>図 1.9.1.TrueType フォント画面</u>

※プリンタ内蔵の TrueType フォントがコンピュータ側にもインストールされている必要があります。 2 種の TrueType フォント「CG Times」および「CG Triumvirate」は、プリンタドライバ のインストール時にコンピュータにインストールされます。 図 1.9.1.「TrueType フォント名」に表示されているフォントを選択し、「詳細設定」ボタンをクリ ックすることにより、図 1.9.2.「TrueType フォント詳細設定」画面が表示されます。ここでは選 択した TrueType フォントに対して以下の設定をおこなうことができます。

	TrueType	フォント詳細設定		x
登録フォント名 - フォント種別 ・ レジテン	CG Times トフォントコマンド	⊖೮ットイメ・	ージコマンド	
連番設定 ○ 有効 ● 無効	モード ○ 16進モード ● 10進モード	同一発行枚数 増減値 連番有効桁数 下位無効桁数 OK	1 1 2 1 2 4+2/2/4	
= 説印月 ここにマウスカー	-ツルのある 入力項目に	ついての説明が表	示されます。	

図 1.9.2. TrueType フォント詳細設定画面

◆フォント種別

TrueType フォントをフォントコマンドで出力するかグラフィックデータとして出力するかの 設定を行います。

- ◆連番設定
- 連番設定を行います。 ◆モード
- 連番設定の増減値を10進数で行うか16進数で行うかの設定を行います。
- ◆同一発行枚数
- 同一内容の発行枚数を指定します。(1~9999枚)
- ◆増減値 連番設定の増減値の設定を行います。(-9999~9999)
- ◆連番有効桁数
- 連番の有効桁数を指定します。(1~99桁)
- ◆下位無効桁数
- 連番の無効とする下位の桁数を指定します。(0~99桁)
- ※連番設定が出来る箇所は、8ヶ所までとなります。

1.10.動作モード

プリンタの動作に関わる部分の設定を行います。

.	SATO	SG408R-ex 印刷	設定 ×
拡張処理 バージョン情報 カラーテキス 〇 白黒印 ④ 階調町	設定 用紙 日 用紙 1 中字 1 字 1 字	ユーティリティ 動作モー	TrueTypeフォント ド クリエイトフォント ハーフトーン調整
印字速度: センサ: 動作モート: プロトコル切替: ドライバ動作 」ドライバオ ・通信制御暇었 」1ページゴ	6インチ/s(150mm/s 反射センサタイプ 連続 Status5 BCC OFI 有効設定 E	s) v :アイマーク1 v F v	
- 説明 ここにマウスカーツル	位置についての説	明が表示されます。 OK	キャンセル 適用(<u>A</u>)

図 1.10.1 動作モード設定画面

♦ハーフトーン

グラフィックデータをハーフトーン処理するパターンを指定します。

◆カラーテキスト印字

文書中の文字列を指定されている色情報に関係無く黒色印字するか、色情報に応じて階調印字を行うかの設定になります。ただし、X20文字などのデバイスフォントは除きます。

◆印字速度

印字速度を選択します。90度回転のバーコードや罫線などの印字レイアウトや使用用紙種により、 印字速度・濃度の調整が必要になります。

◆センサ種別

反射センサタイプ(アイマーク)、透過センサタイプ(ギャップ)、センサ無視の選択をします。 ◆動作モード

- 動作モードの指定を行います。
- ◆プロトコル種別 使用する通信プロトコルを選択します。必ず、プリンタの設定と合わせてください。 ※本設定は、管理者権限のみ変更可能となります。
 - ◆ドライバ有効設定

アプリケーションからの設定を無効にするモードになります。

◆1ページずつ確認して発行する ステータスチェックで、オンライン受信待ちになった場合に次のアイテムを送信します。 ※本設定は、管理者権限のみ変更可能となります。

1.11. 拡張処理設定

	SATO SG408	R-ex 印刷設定	×
バージョン情報 拡張処理設定	用紙 ユーティ	動作モード リティ	クリエイトフォント TrueTypeフォント
- カットモード - カッタコマンド - ロントロールフォント機能を使	用する	指定枚数かか指 〇 あり ● なし	定
- 用紙エンドカット指定 □ 印刷の終了時に用紙	をカットする	加水枝数: 1	*
- ティアオフモード 回刷の終了時にティ フォームオーバーレイー コーレオッション機能躍れ	アオフ動作をさせ	-3	
 通常印刷 オーバーレイ印刷 	呼出+-: 登録+-: 1	÷	
○オーハーレイ登録 オーバーレイ削除	コメント: フ°リンタからオーバ	・しイ情報を取得	
説明 ここにマウスカーソル位置につい	ての説明が表示さ	れます。	
		OK +t	·ンセル 適用(<u>A)</u>

図 1.11.1 拡張処理設定画面

◆コントロールフォントを使用する

コントロールフォントによるカットを使用するため、ドライバのカットコマンドを出さな いようにするかの設定を行います。

- ◆指定枚数カット指定 カッタコマンドを出すかの設定を行います。 ◆用紙エンドカット指定
- 印刷 Job の最後でカットを行うかの設定を行います。
- ◆ティアオフモード 印刷 Job の最後でティアオフ動作を強制的に行うかの設定を行います。 動作モードがティアオフの場合のみ有効です。
- ◆フォームオーバーレイ フォームオーバーレイの設定を行います。プリンタドライバ使用時には、フォームオー バーレイは1箇所のみ登録可能です。

[補足説明 6] コントロールフォント

コントロールフォントのカットを使用すると、アプリケーションソフトにより印字レイアウト を作成するのと同時に、そのレイアウトを印字する際のカット動作も指定できます。 カット指定コマンドには「CT」と「[~]」の2種類があり、コントロールフォント自体もコマンド 指定方法に応じて2種類あります。

①「CT」および「[~]」のカット動作

両コマンド共に何枚ごとにカットするかを指定するものですが、印刷枚数に対する動作が 次のように異なります。

例)指定カット枚数2、印刷枚数3を指定した場合

◇「CT」コマンドによるカット動作◇

2枚ごとにカットし、全部で3枚発行します。



図 1.11.2.「CT」コマンドによるカット動作

◇「~」コマンドによるカット動作◇



②コントロールフォントの指定

◇プリンタコントロール(コマンド)による指定◇





ここでは「装飾フォント」と「バーコードフォント」の設定をおこないます。

「装飾フォント」とは、レジデントフォントに対して倍率や回転角度、連番機能等を任意に設定 し、それらの設定を反映させた状態のフォントを1つのフォントとして登録したものです。アプリ ケーションソフトの書類上にデータを入力し、そのデータのフォントを装飾フォントにすることに より、印字結果には倍率や回転角度、連番などの設定が反映されます(アプリケーションソフトの 編集画面上には反映されません)。「バーコードフォント」とは、アプリケーションソフトの書類上 に入力したデータのフォントをバーコードフォントにすることにより、印字の際にはそのデータが バーコード化されるというものです。

拡張処理設定	里設定 ユーティリティ		TrueTypeフォント	
バージョン情報	用紙	動作モード	クリエイトフォント	
装飾フォント				
X20	^	新規登録 □:	····	
			/ /3/##	
		変更		
		削除		
バーコードフォント				
UPC-A解説文字有り		新規登録	- 5 5 4 8 7	

		変更		
		肖山除余		
	¥.			
店飾フォットとハーコート・フォットロ	ま 会計 70 個主	で登録できます。		
説明			++	
/////////////////////////////////		_∪್ಯಾಗ್ರಿಗಿತೇಗ್.⊖4	LJ Y 0	

装飾フォントとバーコードフォントは合計 70 個まで登録可能です。

図 1.12.1 クリエイトフォント設定画面

- ◆装飾フォント
- 装飾フォントの登録、編集画面を開きます。
- ◆バーコードフォント
- バーコード並びに2次元コードの登録、編集画面を開きます。
| | | 装飾フォントの | 登録 | | > |
|--|---|---|--|---------------|--|
| Ѯ録フォント名┃
装飾情報設定 | | Li
Li | バテッントフォント | X20 | ¥ |
| ● 有効 フォントサイス 幅倍率 高さ倍率 高さ 高さ | (一無効) | サイス [×]
5*9 ✓
単位
○mm
○inch
⑥ dot | - 文字7
] | י°⊌±*ב~
ij | |
| 文字ビッチ 固定ビッチ ブロボーキ 回転 | チ
ショナルビッチ | 白黒反転 | ースムージン | /グー | 金調 |
| ● 0度 ● 90度 | ○ 180度○ 270度 | ○ 有り● 無し | 有り ● 無し | | ○ 有り ● 無し |
| アウトライン飛 ● 標準 ● 白抜き ● 灰色1 | 秋指定
● 灰色2
● 灰色3
● 影付き | 白抜き影付き 競反転 標準斜体 | ○ 白抜き: | 影付き斜体 | 5 |
| 連番設定
○ 有効
● 無効 | ード
〕16進モード
〕10進モード | 同一発行枚数 1 増減値 1 連番有効桁数 1 下位無効桁数 0 | | | ОК
キャンセル |
| 説明
登録する装飾 | フォント名を入力しま | ्रव. | | | |

図 1.12.2 装飾フォント登録画面

◆登録フォント名

登録する装飾フォント名を設定します。この名称が、アプリケーションのフォント一覧に表示 されます。

- ◆レジデントフォント 装飾を行う元のデバイスフォントの名称になります。
- ◆装飾情報設定

装飾情報を有効/無効の設定を行います。(連番設定の場合のみ無効に出来ます。)

◆フォントサイズ

文字の幅、高さの倍率を指定します。(アウトラインフォントの場合は、サイズ指定になり ます。)

また、漢字フォントの場合のみベースとなる縦・横のサイズが選択できます。

◆文字ピッチ

文字間ピッチの設定を行います。ただし、フォントによって固定ピッチしか選択できない場合 があります。

◆回転

フォントの印刷方向の指定を行います。

◆白黒反転

白黒反転印字の設定を行います。

◆スムージング

スムージングの設定を行います。X23 フォント、X24 フォント、漢字フォントのみ選択できます。

◆強調

強調の設定を行います。漢字フォントのみ指定可能です。

◆アウトライン形状指定

アウトラインフォントの形状指定を行います。

◆連番設定

連番設定を行います。

- ◆モード
- 連番設定の増減値を10進数で行うか16進数で行うかの設定を行います。
- ◆同一発行枚数
- 同一内容の発行枚数を指定します。(1~9999枚)
- ◆増減値 連番設定の増減値の設定を行います。(-9999~9999)
- ◆連番有効桁数 連番の有効桁数を指定します。(1~99 桁)
- ◆下位無効桁数 連番の無効とする下位の桁数を指定します。(0~99桁) ※連番設定が出来る箇所は、8ヶ所までとなります。

	バーコードス	オントの登録		x
登録フォント名 - フォント種別 ・ バーコー	-ドストリングフォント	 0パーコー	ドファイルフォント	
バーコード種	UPC-A 詳細設定	~		
連番設定 ○ 有効 ● 無効	モード ○ 16進モード ● 10進モード	同一発行枚数 増減値 連番有効桁数 下位無効桁数 OK	1 ÷ 1 ÷ 0 ÷	
説明 登録するフォン	小名を入力します。			

図 1.12.3 バーコードフォント

◆登録フォント名

登録するバーコードフォント名を設定します。

◆フォント種別

ストリングフォントとして登録するか、ファイルフォントとして登録するか選択します。 ◆バーコード種

登録するバーコード、2次元コードを選択します。

◆詳細設定

バーコード、2次元コードの詳細を設定します。クリックすることにより、図 1.12.4 UPC-A 詳細設定画面が表示されます。(この画面は、③で選択したバーコード種に依存します)

◆連番設定 装飾フォント同様に連番機能 を指定します ただし、2次元コードの場合には選択できません。

[補足説明 7]

ストリングフォントとファイルフォントの違いは、バーコードデータの指定方法にあります。ストリ ングフォントの場合、バーコードデータは直接ストリングフォントを利用するアプリケーションの書 類上に入力してください。

例) <u>491234512345</u>

下線部のフォント種をストリングフォントにしてください。 ファイルフォントの場合、バーコードデータは別途作成したデータファイルに記述し、ファイルフォ ントを利用するアプリケーションの書類上 にはそのデータファイルの絶対パス名を入力してださい。

例) C:¥aaa¥bar.dat

バーコードデータを記述した 「bar. dat」というデータファイルをテキスト形式で作成し、下線部のフォント種をファイルフォントにして、Cドライブの aaa フォルダに入れてください。



図 1.12.4 UPC-A 詳細設定画面

図 1.12.3 の③「バーコード種」で選択したバーコード、2 次元コードに対応した詳細設定ダイアログが 表示されます。以下に登録可能なバーコード、2 次元コードの種類を示します。

- バーコード : UPC-A、UPC-E、JAN-8/EAN-8、JAN-13/EAN-13、CODE39、CODE93、 CODE128 (128A、128B、128C)、GS1-128 (UCC/EAN128)、ITF、 インダストリアル 2of5、マトリックス 2of5、CODABAR (NW-7)、 カスタマバーコード、UPC アドオンコード
- 2 次元コード : QR コード(モデル 1)、QR コード(モデル 2)、QR コード(マイクロ QR)、PDF417 MAXI コード、データマトリックス(ECC200)、GS1 データマトリックス

マイクロ PDF、合成シンボル、セキュリティ QR コード

※機種により対応しているバーコード、2 次元コードが異なります。詳細は、SBPL マニュアルをご覧く ださい。

[補足説明8]

連番設定

図 1.12.2.13、図 1.12.3.5の連番設定における各項目の内容を以下に示します。

有効・無効:連番設定を有効にするか無効にするか選択します。無効にするときは
図 1.12.2.③の装飾情報設定が有効になっている必要があります。16 進モード・10 進モード:連番の対象を 16 進数とみなすか 10 進数とみなすか設定します。同一発行枚数: 何枚発行する度に連番させるか設定します。増減値:連番毎の加算値または減算値を設定します。連番有効桁数: 連番させる桁数を設定します。下位無効桁数: 連番させる最小桁以下の桁数を設定します。

例)モード:16進モード 同一発行枚数:2 増減値:5 連番有効桁数:2 下位無効桁数:3
 印字データの初期値:00F8001とした場合
 連番有効桁は図 1.12.5に示すようになります。



連番動作は図 1.12.6 に示すようになります。



図 1.12.6 連番動作

1.13. ユーティリティ

ここでは、以下のサブ画面の表示を行います。



図 1.13.1 ユーティリティ画面

◆デバイスの設定

デバイス設定画面を開きます。(1.13.1章をご覧ください。)

◆テスト印字
 テスト印字画面を開きます。(1.13.2章をご覧ください。)
 ◆設定情報の読み込み・保存

設定情報の読み込み・保存画面を開きます。(1.13.3章をご覧ください。)

◆ダウンロードフォント・ロゴフォント ダウンロードフォント・ロゴフォント情報画面を開きます。(1.13.4章をご覧ください。)

1.13.1.デバイスの設定

	デバイスの設定	x
ブリンタ設定: ヘッド密度:	連続 ✓ 203dpi(8本/mm)	
- バートѷウェアパペ フ [®] リンタファーム フォント	-ジ [*] aン	
- 説明 フツン知機種を選打 内容を確認して	ハート・ウェアハニージョンを取得 閉じる Rします。変更後は動作モートウロハウィヘページの動作モート・の設分 ください。	Ē

図 1.13.1.1 デバイスの設定画面

◆プリンタ設定

プリンタ設定動作モードを設定します。プリンタから取得することも可能です。

◆ヘッド密度

ヘッド密度を取得し、表示します。(203dpi/305dpi/609dpi)

- ◆ハードウェアバージョン
 - ファームウェアのバージョンを表示します。

[補足説明]

プリンタ名を変更した場合には、1度印刷を行わないと情報取得が正常に行われないことが あります。

1.13.2. テスト印字

テスト印字	×
ファイルパターン選択	
実行 ファイル情報 プリンタ内蔵フォントをテスト印字することが できます。 ラベルサイズは、「P178 x W128 mm」を使用 して下さい。	
説明 ここにマウスカーソル位置についての説明が表示されます。	閉じる

図 1.13.2.1 テスト印字画面

◆ファイルパターン選択

テスト印字パターンを選択します。内蔵フォント、バーコード、グラフィックの3パターン になります。

[特記事項]

テスト印字データの中には、プリンタの設定情報が含まれませんので、プリンタの設定に従います。また、プリンタドライバの設定は、テスト印字データには反映されません。

1.13.3.設定情報の読み込み・保存

設定情報の読み込み・保存	×
設定情報の保存	
ファイル名	
┃	
保存	
設定情報の読み込み ファイル名	
参照	
読み込み	
閉じる	
- 説明 設定情報を保存するファイル名を指定します。	

図 1.13.3.1 設定情報の読み込み・保存画面

◆設定情報の保存

保存を行う設定情報ファイル名を入力します。 ファイルのパス名は、[参照]ボタンで指定することが可能です。

◆設定情報の読み込み 読み込みを行う設定情報ファイル名を入力します。 ファイルのパス名は、[参照]ボタンで指定することが可能です。

[特記事項]

アクセス権のないパス名には、設定情報を保存することはできません。

1.13.4.ダウンロードフォント・ロゴフォント情報

ダウンロードフォント・ロゴフォント情報	×
ロゴフォント一覧	
^	
ダウンロードフォント一覧	
^	
×	881." 2
=288	- ⊡⊡
ダウンロードされているロゴフォントの一覧を表示します。	

図 1.13.4.1 ダウンロードフォント・ロゴフォント情報画面

◆ロゴデーター覧

ロゴデータの一覧を表示します。

◆ダウンロードフォント一覧 ダウンロードフォントの一覧を表示します。

[特記事項]

フォント・ロゴの登録は、SCANTRONICS シリーズ フォント・ロゴ作成ツールを 使用して行ってください。

1.14.サトー専用ポートの追加設定手順

「印刷先のポート」に「サトー専用ポート」を選択すると、各ポートに対して詳細な設定が可能 となります。以下にサトー専用ポートの追加手順と各ポートの設定手順を示します。

1.14.1.サトー専用ポートの追加手順

	i SATO SG408R-exのプロパティ ×
(1) 共有オプションの変更(0)をク リックしてください。図 1.14.1.2 に示す画面が表示されます。	全般 共有 ボート 詳細設定 色の管理 セキュリティ バージョン情報 このプリンターを共有すると、このコンピューターにユーザー名と/パスワードを持つ ネッドフーク上のユーザーのみが、そのプリンターで印刷できます。コンピューター パーク上のユーザーのみが、そのプリンターを利用することはできません。設定を変更す ふには、ドットワークと共有センターを利用することはできません。設定を変更す 小日本有オプションの変更(Q) このプリンケ を共有する(2) 共有名(出): マクトアント コンピューターで印刷ジョブのレンダリングをする(<u>R</u>)
	ドライバー このプリンターを他のバージョンの Windows を実行しているユーザーと共有 する場合、ユーザーがプリンター ドライバーを検索する必要がなくなるように、 追加ドライバーをインストールすることをお勧めします。

図 1. 14. 1.1 共有プロパティ画面

	SATO SG408R-exのプロパティ X
	全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 セキュリティ バージョン情報
(2) ポートプロパティ画面を選──── 択し、図 1. 14. 1. 3 の画面を表示 します。	このプリンターを共有すると、このコンピューターにユーザー名とパスワードを持つ ネットワーク上のユーザーのみが、そのプリンターで印刷できます。コンピューター がスリープ状態のときは、プリンターを利用することはできません。設定を変更す るには、マットワークと共有センターを使用してください。
	□このプリンターを共有する(<u>S</u>)
	共有名(日):
	クライアントコンピューターで印刷ジョブのレンダリングをする(R)
	ドライバー このプリンターを他のバージョンの Windows を実行しているユーザーと共有 する場合、ユーザーがプリンター ドライバーを検索する必要がなくなるように、 追加ドライバーをインストールすることをお勧めします。 追加ドライバー(<u>D</u>)
	OK キャンセル 適用(A)

図 1.14.1.2 共有オプションの変更実行後の画面

	SATO SG408R-ex	xのプロパティ	×
	全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理	セキュリティ バージョン情報	
	SATO SG408R-ex の刷するポート(<u>P</u>) ドキュメントは、チェック ボックスがオンになっているポートの	のうち、最初に利用可能なもの	
	で印刷されます。 ポート 説明 ▼ SG40 SATO SG400R-ex COM	プリンター ^ SATO SG408R-ex	
	SG11 SATO SG112 LAN RT30 SATO RT COM 1357 SATO PT200e/PT408e/PT PT20 SATO PT200e/PT408e/PT	SATO SG112 SATO RT308R SATO PT200e	
(3)「ポートの追加(<u>T</u>)…」をクリックし てください。図 1. 14. 1. 4 に示す画面 が表示されます。	↓ MT41 SATO MT LAN ✓ ポートの追加(<u>I</u>) ポートの削除(<u>D</u>)	SATO MT410e > オートの構成(<u>C</u>)	
	☑ 双方向サポートを有効にする(E) □ プリンター プールを有効にする(N)		
	OK	キャンセル 適用(点	<u>4</u>)

図 1.14.1.3 「ポート」 画面



図 1.14.1.4「ポート追加」画面

①シリアル (SATO SG400R-ex COM) ポート

(5) 技徒せのポーレタナ 訊	SATO COMポート名	×
(5) 接続元のホート名を設 定してください。	接続先のポート名(<u>E</u>):	OK
(6)出力するデバイス名		キャンセル
を選択してください。		
	図 1.14.1.5「SATO COM ポート。	の追加」画面

②IEEE1284 (SATO SG400R-ex LPT) ポート

	SATO LPTポート名	×
(5) 接続先のポート名を	接続先のポート名(E):	OK
設定してくたさい。	SG408R-ex	キャンセル
(6)出力するデバイス名を	出力デバイス名(0):	
選択してくたさい。	LPT1:	

図 1.14.1.6「SATO LPT ポートの追加」 画面

③LAN (SATO SG400R-ex LAN) ポート

(5) 接続先のポート名を	SATO LANポート名	×
設定してくたさい。 (6) プリンタに設定されて いる IP アドレスを入力 してくだ さい。IP アド レスの設定 に関して は「プリンタ設定ツール 説明書」をご覧ください。	接続先のポート名(E): ▲ SG408R-ex 出力プリントサーバ(Q): ■ IPアドレス: 192.168.1.1	ОК ++>tл

図 1.14.1.7「SATO LAN ポートの追加」 画面

※ポート名は、他機種で使用していないポート名を指定する必要があります。 同じポート名を使用した場合は、他機種のポートが選択される場合があります。

1.14.2.サトー専用ポート設定手順



図 1.14.2.1「ポート」画面

①シリアル (SATO SG400R-ex COM) ポート

		SATO COMポー	トの設定		×	
	COMインタフェース情報の設定				1	
①	ボーレート(<u>B</u>):	19200	~			
2	データビット(<u>D</u>):	8	~			
3	パリティ(<u>P</u>):	ねし	~			
<u>(4)</u>	ストップビット(<u>S</u>):	1	~			
(5)	フロー制御(<u>F</u>):	なし	↓ 標準	≜に戻す(<u>R</u>)		<u> </u>
	COMタイムアウト値設定					
	送信タイムアウト(0):	45	秒		— <u>(</u>]
	通常印刷用送受信	間隔タイム(1):	100	囙秒		<u> </u>
9					_	
	デバイスチェック	(OK	キャンセル		
	記用					

図 1.14.2.2 COM ポート設定画面

①ボーレートを選択します。

- ②データビットを選択します。
- ③パリティを選択します。
- ④ストップビットを選択します。
- ⑤フロー制御を選択します。

⑥初期値に戻します。ボーレート:19200 データビット:8 パリティ:なし ストップビット:1 フロー制御:なし

⑦送信タイムアウトの設定を行います。

⑧送信から受信までの待ち時間の設定を行います。

⑨COM ポートが使用可能かの確認を行います。

[補足説明]

①~⑤は、プリンタ側の設定と同じにしてください。

②IEEE1284 (SATO SG400R-ex LPT) ポート



図 1.14.2.3 LPT ポートモニタ設定画面

①データ受信時のタイムアウト値の設定を行います。
 ②データ受信間隔のタイムアウト値の設定を行います。
 ③送信タイムアウト値の設定を行います。
 ④送信から受信までの待ち時間の設定を行います。
 ⑤LPT ポートが使用可能かの確認を行います。

	SATO LANポートの設定			
1)	フ ^ゥ リントサーハ [*] 情報の設定 ▶ IP アト [*] レス(]): 192.168.1.1			
2 3 4 5	タイムアウトの設定 30 ◆ 秒 送受信タイムアウト(Q): 30 ◆ 秒 接続タイムアウト(C): 10 ◆ 秒 受信終了タイム(R): 20000 ◆ 沙秒 通常印刷用送受信間隔タイム(N): 0 ◆ 沙秒 OK キャンセル 説明 IPアトドレスを設定します。			

図 1.14.2.4 LAN ポートモニタ設定画面

①IP アドレスの設定を行います。
 ②送受信タイムアウトの設定を行います。
 ③接続タイムアウトの設定を行います。
 ④受信終了タイムの設定を行います。
 ⑤送信から受信までの待ち時間の設定を行います。

[補足説明]

WAN 環境で使用の際には、送受信タイムアウト値を伸ばして送受信タイムアウト が発生しない時間にする必要があります。

2. インストーラ/アンインストーラ起動手順

<u>SATOダウンロード・サイト</u>から、ご使用になる機種に対応したプリンタドライバをダウンロードして ください。

ダウンロードしたファイルは圧縮されておりますので解凍してください。表2に各シリーズのインストーラ/アンインストーラのファイル名を示します。

表2 インストーラ/アンインストーラのファイル名

	x86版(32ビット0S用)	x64 版(64 ビット 0S 用)
SG400R-ex シリーズ	PrtInst_SG400R_ex_x86.exe	PrtInst_SG400R_ex_x64.exe
SG112T/R	PrtInst_SG112 _x86.exe	PrtInst_SG112_x64.exe
SG600R シリーズ	PrtInst_SG600R_x86.exe	PrtInst_SG600R_x64.exe
SG400R シリーズ	PrtInst_SG400R_x86.exe	PrtInst_SG400R_x64.exe
BF400R シリーズ	PrtInst_BF400R_x86.exe	PrtInst_BF400R_x64.exe
HA200R シリーズ	PrtInst_HA200R_x86.exe	PrtInst_HA200R_x64.exe
GN412T	PrtInst_GN412T_x86.exe	PrtInst_GN412T_x64.exe
ST300R シリーズ	PrtInst_ST300R_x86.exe	PrtInst_ST300R_x64.exe
RT308R	PrtInst_RT308R_x86.exe	PrtInst_RT308R_x64.exe

ファイルをダブルクリックするとインストーラ/アンインストーラが起動します。「2.4. プリンタド ライバのインストール方法選択画面」へ進んでください。

なおアクセサリ CD をご使用になる場合は「2.1.メインメニュー画面」をご参照ください。

2.1.メインメニュー画面



図 2.1 メインメニュー画面

「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットしてください。自動的に図 2.1 に示す画面が 表示されますので、画面中「MENU」で「SG400R-ex シリーズ」を選択し、「次へ」をクリックします。

【補足説明】

- ※1 「MODEL」に表示されている機種をダブルクリックすることにより、対応するプリンタドライ バのインストール方法選択画面を起動することができます(「2.4. プリンタドライバのインス トール方法選択画面」を参照してください)。
- ※2 図 2.1 の画面が自動的に表示されない場合は、アクセサリ CD-ROM 内の「MainMenu. exe」をダ ブルクリックしてください。



図 2.2. プリンタメニュー画面

「図 2.2 プリンタメニュー画面」で「プリンタドライバ」をクリックします。

2.3. プリンタドライバ画面



図 2.3 プリンタドライバ画面

「図 2.3 プリンタドライバ画面」の「MODEL」で「SG400R-ex シリーズ」を選択し、

「インストール」をクリックすると、「3. インストール手順」 「アンインストール」をクリックすると、「4. アンインストール手順」

の説明に進みます。

2.4. プリンタドライバのインストール方法選択画面



図2.4 プリンタドライバのインストール方法選択画面

「表2インストーラ/アンインストーラのファイル名」に示したファイルをダブルクリックする、 もしくは「2.3 プリンタドライバ画面」でプリンタ名をダブルクリックすることにより、本画面が 表示されます。

[項目説明]

①インストールを行うかアンインストールを行うかを指定します。
 ②インストール処理を中止し、本画面を閉じます。
 ③インストールまたは、アンインストールを行います。

[補足説明]

- 1.「インストール」選択時は、「3.インストール手順」へ進みます。
- 2. 「アンインストール」選択時は、「4 アンインストール手順」へ進みます。

3. インストール手順

3.1. プリンタドライバ インストール画面



図 3.1.1. インストール画面

①「プリンタの選択」でインストールするプリンタを選択し、④「プリンタの名称」にプリンタ名称 を入力してください。③「次へ」をクリックするとインストール処理を開始します。

③「次へ」をクリックすると、Windows Vista 以降の OS では「図 3.1.2. セキュリティ警告画面」が 表示されますので、「インストール(<u>I</u>)」を選択してください。(Windows XP/Server2003 ではメッセー ジ内容が異なります。インストール継続を選択してください。)

[項目説明]

①プリンタの機種を選択します。

- ②インストール処理を中止し、本画面を閉じます。
- ③インストール処理を行います。
- ④インストールを行うプリンタ名称を入力します。

⑤インストール条件を指定します。詳細は「3.5 特殊設定画面」をご覧ください。

[補足説明]

③「次へ」をクリックするとインストール処理を開始しますが、Windows 7 以降の 0S の場合、 0S の動作状況により、「3.2. 接続先ポート指定画面」への移行に時間がかかる場合があります。



図 3.1.2. セキュリティ警告画面

[補足説明]

- 1.上記の画面は、Windows Vista以降の OS でのみ表示されます。
- 2. 上記画面中のチェックボックス「"SATO CORPORATION"からのソフトウェアを常に信頼する(A)」 にチェックを入れると、次回のインストール時から上記画面は表示されなくなります。

3.2. 接続先ポート指定画面



図 3.2.1. 標準印刷サポート対応機種の接続先ポート指定画面

プリンタに接続されているインタフェースを選択し、「次へ」をクリックすると

- ・「シリアル(RS-2320)インタフェース」の場合
- ・「パラレル(IEEE1284)インタフェース」の場合
- ・「LAN/無線 LAN インタフェース」の場合
- 「3.3.1 シリアルポート選択画面」 「3.3.3 パラレルポート選択画面」
- 「3.3.5 SATO LANポート登録画面」

へ進みます。

[項目説明]

①インタフェースの種類を選択します。
 ②「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。
 ③インストーラを終了します。
 ④ポートのインストールへ進みます。

[補足説明]

USB 標準印刷サポートを使用する場合は、③「終了」をクリックしてインストール処理を終 了させ、Windows のインストール処理を実施してください。インストール方法は「5. USB標 準印刷サポートのインストール方法」をご覧ください。 3.3. ポート選択画面

3.3.1. シリアルポート選択画面



図 3.3.1. シリアルポート選択画面

シリアルポートを「SATO ポート(推奨)」、「標準ポート」のいずれかを選択し、②「OK」をク リックします。「SATO ポート(推奨)」を選択した場合は「3.3.2 SATO COMポート選択画面」 へ進みます。

ここでは「SATO ポート(推奨)」を選択してください。

[項目説明]

③SATO ポート、標準ポートのどちらをインストールするか選択します。
 ②シリアルポートの選択を確定します。
 ③「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

[補足説明]

1. 双方向通信を行う場合には、SATO ポートを使用してください。

2.標準ポートを使用した場合には、双方向通信が正常に出来ないことがあります。

3.3.2. SATO COM ポート選択画面



図 3.3.2. SATO COM ポート選択画面

 「接続先のポート名」に登録する COM ポート名を入力して、③「OK」をクリックしてください。③「OK」をクリックすると、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」 へ進みます。

[項目説明]

①ポートの名称を入力します。
 ②COM ポートの選択を行います。COM1~20 まで選択出来ます。
 ③COM ポートのインストールを行います。
 ④「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

[補足説明]

- 1. 出力デバイスは、存在するポートを選択してください。存在しないポートを選択した場合、 正常に動作しません。
- 2. ポート名には、デバイス名で使用されている、「COM」、「LPT」、「USB」を含まないようにしてください。デバイス名を含んだポートモニタ名で登録した場合、正常に登録出来ません。

3.3.3. パラレルポート選択画面



図 3.3.3. パラレルポート選択画面

パラレルポートを「SATO ポート(推奨)」、「標準ポート」のいずれかを選択し、②「OK」を クリックします。「SATO ポート(推奨)」を選択した場合は「3.3.4 SATO LPTポート選択画面」 へ進みます。

ここでは「SATO ポート(推奨)」を選択してください。

[項目説明]

①SATO ポート、標準ポートのどちらをインストールするか選択します。
 ②パラレルポートの選択を確定します。
 ③「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

[補足説明]

1. 双方向通信を行う場合には、SATO ポートを使用してください。

2.標準ポートを使用した場合には、双方向通信が正常に出来ないことがあります。

3.3.4. SATO LPT ポート選択画面



図 3.3.4.1. SATO LPT ポート選択画面

 「接続先のポート名(E)」に登録する LPT ポート名を入力して、③「OK」をクリックして ください。③「OK」をクリックすると、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの 終了画面」へ進みます。

[項目説明]

①ポートの名称を入力します。
 ②LPT ポートの選択を行います。LPT1~3 まで選択出来ます。
 ③LPT ポートのインストールを行います。
 ④「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

[補足説明]

- 1. 出力デバイスは、存在するポートを選択してください。存在しないポートを選択した場合、 正常に動作しません。
- 2. ポート名には、デバイス名で使用されている、「COM」、「LPT」、「USB」を含まないようにしてください。デバイス名を含んだポートモニタ名で登録した場合、正常に登録出来ません。

 ※ IEEE1284 ケーブルをプリンタとコンピュータに接続後、プリンタの電源を入れると図 3.3.4.2. 「新しいハードウェアが見つかりました」表示画面が表示されることがあり ます。その際は「キャンセル」、「このデバイスについて再確認は不要です(D)」、「X」 のいずれかを選択してください(下記の例は、Windows Server2008 になります)。



図 3.3.4.2. 「新しいハードウェアが見つかりました」表示画面

3.3.5. SATO LAN ポート登録画面



図 3.3.5. SATO LAN ポート登録画面

「接続先のポート名」に登録する LAN ポート名を入力して、②印刷対象の IP アドレスを入力してください。③「OK」をクリックすると SATO LAN ポートを登録して、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

[項目説明]

- ①ポートの名称を入力します。
- ②IP アドレスを入力します。
- ③LAN ポートのインストールを行います。
- ④「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

[補足説明]

- 1. 接続する IP アドレスは、プリンタの設定をご確認願います。
- 2. ポート名には、デバイス名で使用されている、「COM」、「LPT」、「USB」を含まないようにしてください。デバイス名を含んだポートモニタ名で登録した場合、正常に登録出来ません。

3.4. インストールの終了画面



図 3.4.インストールの終了画面

インストールの処理を終了すると、本画面が表示されます。「OK」をクリックして処理を終 了させてください。

3.5. 特殊設定画面



図 3.5.1. 特殊設定画面

「3.1. プリンタドライバインストール画面」で「特殊設定」をクリックすると表示される画面です。

[項目説明]

①インストールするプリンタ数を入力します。

指定範囲は①~100です。

初期値は1となっていますが、ここで複数のプリンタ数を指定すると、インストールされる プリンタ名は、

SATO SG408R-ex_001, SATO SG408R-ex_002, • • • • • •

と、入力されたプリンタ名に、自動でシーケンス番号を付加して登録します。

②通常は双方向通信をおこなうため、チェックボックスにチェックを入れないでください。

双方向通信を使用しない環境の場合のみ、チェックボックスを ON としてください。

③特殊設定の内容を確定し、画面を閉じます。

④特殊設定の内容をキャンセルします。

[補足説明]

- 1. 言語モニタをインストールしない場合、標準 COM ポートならびに標準 LPT ポートしかインス トールできません。
- 2. 言語モニタをインストールしない場合は、同じシリーズのプリンタドライバのインストールの際にも言語モニタをインストールしない設定にしてください。

4. アンインストール手順

4.1. アンインストール画面



図4.1 アンインストール ドライバ設定情報保存確認画面

アンインストール起動直後に図4.1が表示されます。すでにドライバ設定情報を保存している 場合は、「はい(Y)」をクリックしてください。ドライバ情報を保存していない場合は、「いいえ (N)」をクリックして、アンインストール作業を中止させてください。

ドライバ情報を保存せずにアンインストールを実行すると、ドライバ使用時に独自に追加した 「用紙」や「クリエイトフォント」に関する設定情報も同時に削除されます。ドライバを再イン ストールしたときに、これらの設定を復元するためには、ドライバ設定情報を保存しておく必要 があります。

ドライバ情報の保存方法については、「1.13.3.設定情報の読み込み・保存」をご覧ください。

4.2. アンインストール プリンタ選択画面



図 4.2. アンインストール プリンタ選択画面

表示されているプリンター覧より、アンインストールしたいプリンタを選択します(選択しない場合は全プリンタがアンインストール対象となります)。

③「次へ」をクリックするとアンインストール処理が開始されます。

[項目説明]

①アンインストール対象のプリンタを選択します。

②アンインストールを中止します。

③アンインストール処理を行います。

[補足説明]

- インストール処理が途中で失敗した場合、アンインストールではなくプリンタプロパティ 上でプリンタ削除をおこなった場合、インストールされたファイルがシステムフォルダに 残り、レジストリに情報が残ったままとなります。その場合、プリンター覧にプリンタ名 が表示されないことがありますが、③「次へ」をクリックし、アンインストール処理をお こなうことによりインストールされたシステムファイルを削除することができます。
- 2. 複数のプリンタが表示された場合、すべてのプリンタを削除しなければ、インストールされたプリンタドライバ関連のファイルは削除されません(その際はプリンタ名の削除のみとなります)。プリンタドライバ関連のファイルは、対象となるプリンタ全てを削除した場合に、完全に削除します。

4.3. アンインストール 終了画面



図 4.3. アンインストール終了画面

アンインストール処理が終了すると図 4.3.の画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリック して Windows を再起動させてください。これでプリンタドライバのアンインストール作業は終 了です。

「いいえ(N)」を選択した場合には、手動でWindowsを再起動してください。
- 5. USB 標準印刷サポートのインストール方法
 - 5.1. USB 標準印刷サポートのインストール手順

USB 標準印刷サポート対応の機種の場合、USB ポート選択時のインストール方法は「3. インストール手順」と異なります。また、OS によって手順が異なります。 ※USB 標準印刷サポートの説明は「BF408R」を例にいたします。

5.1.1. Windows 7 以降の OS でのインストール手順

BF408R/412R プリンタドライバを全くインストールしていないコンピュータにイン ストールする場合には、インストーラを起動します。

🦉 Windows8用プリンタドライバのインストールを行います。 – ×
プリンタの選択 SATO BF408R SATO BF412R
0% 100% キャンセル 次へ
特殊設定 説明 インストールするプリンタのモデルを選択します。

図 5.1.1.1. インストーラ画面

プリンタ名称は、初期値のままで「次へ」をクリックします。 「次へ」をクリックすると、Windows 7 では「図 5.1.1.2. セキュリティ警告 画面」が表示されますので、「インストール(<u>1</u>)」を選択してください。

9 -	Windows セキュリティ		
このデバイス ソフトウェアをインストー 名前: SATO ブリンター 発行元: SATO CORPORATION	ルしますか?		
□ "SATO CORPORATION" からのソフト する(<u>A)</u>	ウェアを常に信頼 インストール(I) インストールしない(N)		
() 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインストールしてください。安全にインストールできるデバイス ソフトウェアを 判断する方法			

図 5.1.1.2. セキュリティ警告画面

【注意事項】

上記画面中のチェックボックス「"SATO CORPORATION"からのソフトウェアを常に 信頼する(A)」にチェックを入れると、次回のインストール時から上記画面は表示 されなくなります。

図 5.1.1.3の接続先ポート指定の選択画面が出ますので、「終了」をクリックします。

接続先ポート指定			
プリンタに接続されているインタフェースを選択してください。			
● シリアル(RS-232C)インタフェース			
○ バラレル(IEEE1284)インタフェース			
○ LAN/無線LANインタフェース			
USBインタフェースをご利用の場合 コンピュータとプリンタをUSBケーブルで接続した後、プリンタの電源を 入れてから「終了」ボタンを押してください。 「新し、い」ードウェアの検出ウィザード」が表示された場合は指示に従 ってインストールを行ってください。			
戻る終了が次へ			

図 5.1.1.3. 接続先ポート指定画面

コンピュータに USB ケーブルを接続し、プリンタの電源を ON にすると自動的にプリ ンタドライバがインストールされます。 2 台目以降のプリンタドライバは、USB ケーブルを接続し、プリンタの電源を ON にする だけで、自動的にインストールされます。

但し、プリンタドライバの名称が、図 5.1.1.4 に示すように SATO BF408R(1 コピー)、 SATO BF408R(2 コピー)・・・となってしまいますので、プリンタのプロパティを開き、 図 5.1.1.5 のように名称変更をおこないます。



図 5.1.1.4.2 台目以降インストール時のプリンタドライバー覧

SATO BF408R-	JSB SA	TO BF408R-USB など
場所(L):	ີ	新しい名称を入力
עאב (C):		ます。
モデル(<u>O</u>): SATO BF408R		
機能		
色: いいえ	利用可能な用紙:	
両面: いいえ	User defined	
ホチキス止め:不明		
ホチキス止め:不明 速度:不明 导京8000度:202 dpi		

図 5.1.1.5 ドライバの名称変更

図 5.1.1.6 のように入力した名称に変わっていることを確認できれば、インストール完 了となります。



図 5.1.1.6. 名称変更後のプリンタドライバー覧

5.1.2. Windows Vista/Server2008 でのインストール手順

USB 標準印刷サポート対応の機種を USB ポートに接続し、機種の電源を ON にしますと、 Windows が自動的に認識し、「5.1.2.1. 新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示 されます。

「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)(L)」をクリックしてく ださい。



図 5.1.2.1 新しいハードウェアが見つかりました画面

図 5.1.2.1. 新しいハードウェアが見つかりました画面で赤枠部分をクリックすると、 図 5.1.2.2. 新しいハードウェアの検出画面1が表示されます。 「オンラインで検索しません(<u>D</u>)」をクリックします。

新	しいハードウェアの検出 - SATOBF408R
)	🧕 新しいハードウェアの検出 - SATOBF408R
	SATOBF408R のドライバ ソフトウェアをオンラインで検索しますか?
	はい、常にオンラインで検索します(推奨)(A) このハードウェア用の最新のドライバとアプリケーションが自動的に検索され、コンピュータにダウンロードされます。
	◆ はい、今回のみオンラインで検索します(Y) このデバイス用の最新のドライバとアプリケーションが検索され、コンピュータにダウンロードされます。
ſ	→ オンラインで検索しません(D) 最新のソフトウェアが取得されるまでは、デバイスが正しく機能しないことがあります。
L	Microsoft のプライバシーに関する声明を表示します
	キャンパクル

図 5.1.2.2 新しいハードウェアの検出画面 1

図 5.1.2.3. 新しいハードウェアの検出画面 2 が表示されます。「ディスクはありません。ほかの方法を試します(I)」をクリックしてください。

新	しいハードウェアの検出 - SATOBF408R
)	🧕 新しいハードウェアの検出 - SATOBF408R
	SATOBF408R に付属のディスクを挿入してください
	デバイスに付属していたディスクがある場合は、今すぐ挿入してください。そのディスク上で ドライバ ソフトウェアが自動的に検索されます。
Г	
	→ ディスクはありません。他の方法を試します(1)
	キャンセル

図 5.1.2.3 新しいハードウェアの検出画面 2

図 5.1.2.4. ハードウェア検出失敗画面にて、「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)(R)」をクリックします。



図 5.1.2.5. インストール情報ファイル指定画面にてインストール情報ファイルの存 在するフォルダを指定します。BF408R では「BFDRV. INF」となります。

×
キャンセル

図 5.1.2.5 インストール情報ファイル指定画面

フォルダを指定して「次へ(N)」をクリックします。

インストールを開始すると、図 5.1.2.6. Windows セキュリティ警告画面が表示されます。



図 5.1.2.6. Windows セキュリティ警告画面

「インストール(I)」をクリックしてください。

インストールが完了すると図 5.1.2.7 インストール完了画面が表示されるので、「閉じる」 をクリックしてください。

🔋 新し	いハードウェアの検出 - SATO BF408R	×
\bigcirc	◎ 新しいハードウェアの検出 - SATO BF408R	
	このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。	
	このデバイスのドライバ ソフトウェアのインストールを終了しました:	
	SATO BF408R	
_		
		<u>開いる(C)</u>

図 5.1.2.7. インストール完了画面

以上で USB 標準印刷サポートのインストール処理は完了です。

5.1.3. Windows XP/Server2003 でのインストール手順

USB 標準印刷サポート対応の機種を USB ポートに接続し、機種の電源を ON にすると、Windows が自動的に認識し、「5.1.3.1. Windows のインストール確認画面」が表示されます。 「いいえ、今回は接続しません(T)」を選択した後、「次へ(N)」をクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード			
	新しいハードウェアの検索ウィザードの開始		
	お使いのコンピュータ、ハードウェアのインストール CD または Windows Update の Web サイトを検索して (ユーザーの了解のもとに) 現在のソフトウ ェアおよび更新されたソフトウェアを検索します。 <u>プライバシー ポリシーを表示します。</u>		
	ソフトウェア検索のため、Windows Update (こ接続しますか?		
	 ○はい、今回のみ接続します(Y) ○はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します(E) ○いいえ、今回は接続しません(T) 		
	続行するには、D次へ] をクリックしてください。		
	< 戻る(B) 次へ(D) キャンセル キャンセル		

図 5.1.3.1. Windows のインストール確認画面

「次へ」をクリックすると、図 5.1.3.2. Windows のインストール準備画面が表示されます。 インストール情報ファイルを指定しますので、赤枠部分を選択し、「次へ (N)」をクリックして ください。



図 5.1.3.2. Windows のインストール準備画面

「参照(R)」をクリックしてインストール情報ファイルの存在するフォルダを指定します。

新しいハードウェアの検出ウィザード			
検索とインストールのオブションを選んでください。			
○ 次の場所で最適のドライバを検索する(S) 下のチェック ボックスを使って、リムーバブル メディアやローカル パスから検索できます。検索された最適のドラ イバがインストールされます。 ✓ リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索(M)			
✓ 次の場所を含める(Q): D:¥DRIVER¥32bit¥Windows¥SG600R¥SG608 ● 協力になった。ことには、「「「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「			
 ○ 検索しないで、インストールするドライハを選択する(<u>D</u>) → 暫からドライバを選択するには、このオブションを選びます。選択されたドライバは、ハードウェアに最適のもの とは限りません。 			
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル			

図 5.1.3.3. インストール情報ファイル指定画面

フォルダを指定して「次へ(N)」をクリックします。

インストールを開始すると、図 5.1.3.4. Windows セキュリティ警告画面が表示されます。

ለተቸታ፤	アのインストール
1	このハードウェア: プリンタ を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との 互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していません。 <u>このテストが重要である理由</u>) インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システム が不安定になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があり ます。今ずぐインストールを中断し、Windows ロゴテストに合格したソフ トウェアが入手可能かどうか、ハードウェア ペンダーに確認されることを、 Microsoft は強くお勧めします。
	続行© インストールの停止(S)

図 5.1.3.4. Windows セキュリティ警告画面

※ Windows Server2003では、メッセージの内容が異なります。

「続行(<u>C</u>)」をクリックしてください。

図 5.1.3.5. Windows のインストール完了画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



図 5.1.3.5. Windows のインストール完了画面

以上で USB 標準印刷サポートのインストール処理は完了です。

6. 注意事項

6.1. インストール起動時のエラーメッセージ



図 6.1. 起動エラーメッセージ

インストール起動時に、図 6.1.のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、 既に違うバージョンのドライバがインストールされている場合に表示されます。 アンインストール実施後に再度、インストールをおこなってください。

- 注1 プリンタドライバのインストールでは、インストール先のシステムフォルダに、既に同名の ファイルが存在する場合、上書きコピーができません。したがって、図 6.1.のメッセージが 表示された場合は、必ずアンインストール処理をおこなってください。
- 注2 インストールが途中で失敗した場合、アンインストールをおこなわずにプリンタを削除した 場合に、システムフォルダにプリンタドライバ関連のファイルが残ってしまい、図 6.1.のメ ッセージが表示される場合があります。アンインストールを実施後、再度インストールをお こなってください。 (この場合、プリンタ選択画面にプリンタ名が表示されない場合があります。「4.2 アンイ

(この場合、プリンタ選択画面にプリンタ名が表示されない場合があります。「4.2.アンインストール プリンタ選択画面」注1を参照してください。)

6.2. アンインストール時のポート共有メッセージ



図 6.2.1. ポート共有メッセージ

アンインストールするプリンタの接続ポートを他のプリンタでも使用している場合、図 6.2.1. ポート共有メッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合は図 6.2.2. ポートモニタの画面を開き、ポートの共有を外してからアンインストールをおこなってください。

SATO SG424	4Rのプロパティ		X	
全般共有	ポート 詳細設定 色	の管理 セキュリティ バージョン情報		
si si	ATO SG424R			
印刷するポート ドキュメントは、 で印刷されます	・(<u>P)</u> チェック ボックスがオンになっ 「。	っているポートのうち、最初に利用可能な	350	
ポート	説明	プリンター	^	例では、SG608R の COM
COM2:	シリアル ポート			ポートを SG424R が共
COM3:	シリアル ポート			有しているため、
COM4:	シリアル ホート			SG424R プリンタドラ
USB001	リSBの仮想プリンター		=	イバから、この画面を
✓ SG60	SATO SG6 COM	SATO SG424R		用き、違うポートを選
ZPSP	ローカル ボート	Microsoft XPS Document V	V +	択します。
ポートの追	加(工) ポート	の削除(<u>D)</u> ポートの構成(<u>C</u>)	
☑ 双方向サポ	[【] ートを有効にする(<u>E</u>)			
□ プリンター フ	^{fl} ールを有効にする(<u>N</u>)			
		OK キャンセル		

図 6.2.2. ポートモニタの画面

6.3. Plug & Play 回避方法

LPT ポート接続の場合、プリンタをコンピュータに接続した状態でプリンタの電源を入れた 場合や、プリンタの電源を入れた状態でコンピュータを起動すると、「新しいハードウェア が見つかりました」の画面が表示される場合があります。

💼 新しいハードウェアが	見つかりました	×
SATO SG608R	のドライバ ソフトウェアをインストールする	必要があります
ドライバ ソフトウ このデバイスのドラ・	ェアを検索してインストールします (推奨)(<u>し</u>) イバ ソフトウェアをインストールする手順をご案内し	ます。
→ 後で再確認しま 次回デバイスをプラ セージが表示され。	す(<u>A)</u> 57 インするときまたはデバイスにログオンするときに ます。	、再度確認メッ
このデバイスについ このデバイスは、ド	いて再確認は不要です(<u>D</u>) ライバ ソフトウェアをインストールするまでは動作しる	ません。
		キャンセル

図 6.3.1. 新しいハードウェアが見つかりました 画面 (Windows Server2008)

図 6.3.1 が表示された場合は赤枠部分を選択し、<u>インストール処理を行わないでください</u>。 Windows Vista の場合にも同様の画面が表示されます。

Windows XP/Server2003の場合は、次ページ以降をご覧ください。

WindowsXP/Server2003の場合

 (1)「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。「いいえ、今回は接続しません(I)」を 選択した後「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。(CD-ROM は、CD ドライブに入れたままの 状態にします。)



図 6.3.2. 新しいハードウェアの検索ウィザードの開始 画面(Windows XP)

(2)「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(<u>I</u>)」を選択した後「次へ(<u>N</u>)」ボタンをクリックしてください。



図 6.3.3. インストール方法選択 画面(Windows XP)

(3)「完了」ボタンをクリックしてください。



図 6.3.4. このハードウェアをインストールできません 画面(Windows XP)

Windows Server2003の場合にも同様の画面が表示されます。